

公益社団法人 日本金属学会
2019年度(平成31年度)事業計画書
2019年3月1日から2020年2月29日まで

I. 事業の計画

1. 基本方針

- ①2019年度は、公益社団法人としての7年目の事業年度であり、引き続きセルフガバナンスに基づいて、公益目的事業を公正かつ適切に推進する。
- ②日本金属学会ビジョンおよび10年後の姿の実現に向けた諸施策を推進する。
- ③刊行事業については、機関誌3誌の刊行を推進する。まてりあは、入門講座や講義ノート等の学術及び技術並びに情報の記事を充実させる。さらに、金属及び関連材料に関する情報が知りたいときに必ず手に取る情報誌であることを実現させるために、誌面や記事構成の更新等を推進する。具体的な対応策として、掲載記事構成の定型化を行い、これに簡潔な記事（研究室紹介、はばたくなど）を散りばめていく。さらに、記事見出しなどのデザイン見直し、編集委員執筆記事の掲載、ページ数増加を行っていく。日本金属学会誌は、日本語で書かれた最新知見の発信や高度な専門性のある提案・意見交流・学理追求の場として維持向上を図るために、積極的な投稿勧誘等を推進する。Materials Transactions は、日本の代表的な材料系英文論文誌であり続けるよう、より一層高度化するとともに、インパクトファクターの向上を目指し、Review や Overview の掲載や査読の厳格化等によって掲載論文の質を向上させる。さらに、質の高い論文が掲載されていることの周知やオープン化拡大等の掲載論文引用の促進等の施策を推進する。学術図書類は、既刊図書のデジタル化及び理数探求科目履修支援のためのコンテンツ制作を推進する。
- ④講演会・講習会事業については、最新の研究や技術を発信し、多様かつ多くの研究者や技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、魅力あるシンポジウムの企画や他学協会との連携企画の拡充等の施策を推進する。また、講演大会参加者の利便性を向上させるために、講演概要集のWeb化を推進する。さらに、基礎から最新の研究や技術までを学べるセミナーの開催や次世代を担う人材の教育と育成に貢献する魅力ある講習会の開催等のメニューの拡大を推進する。
- ⑤調査・研究事業については、我が国の材料科学を先導していくことを目指し、再編した分科による活動を推進する。また、若手研究者の育成を目的として、研究助成事業を開始する。なお、本年度は募集を実施し、助成金の交付開始は来年度となる。さらに、金属及び関連材料に興味を持つ若い世代を育てることを目指し、学校教育の支援や青少年向けイベントの開催、若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。国際学術交流は、従来から推進しているTMSおよびKIMとの交流等の推進に加えて、講演大会における国際セッションの開催を検討する。
- ⑥表彰・奨励事業については、各賞の授賞目的と対象を再整理し、将来の更なる発展が期待できる若手を対象とした賞の拡充等を推進する。
- ⑦庶務については、引き続き法令等および本会の定めにより、公正かつ適切に行う。また、学会の活動を広く世間に周知するために、広報活動を推進する。
- ⑧会計については、引き続き最新の公益法人会計基準および公益認定等ガイドライン等に則り、公正かつ適切に行う。

2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第5条第1号)

(1) 日本金属学会会報「まてりあ」

①発行

発行年月日	巻	号	発行部数	掲載頁数
2019年 3月1日	第58巻	3号	5500部	50頁
2019年 4月1日	第58巻	4号	5500部	50頁
2019年 5月1日	第58巻	5号	5500部	50頁
2019年 6月1日	第58巻	6号	5500部	50頁
2019年 7月1日	第58巻	7号	5500部	50頁
2019年 8月1日	第58巻	8号	5500部	50頁
2019年 9月1日	第58巻	9号	5500部	50頁
2019年10月1日	第58巻	10号	5500部	50頁

2019年11月1日	第58巻 11号	5500部	50頁
2019年12月1日	第58巻 12号	5500部	50頁
2020年 1月1日	第59巻 1号	5500部	50頁
2020年 2月1日	第59巻 2号	5500部	50頁

- ・電子ジャーナルを毎号刊行する。

②巻頭記事（サイエンスライター記事）

- ・第58巻 8号, 11号 第59巻 2号

③特集等

- ・第58巻 4号 ミニ特集「材料技術史から見るこれからの技術展開」 5編程度
- ・第58巻 7号 ミニ特集「超合金を凌駕せよ！次世代を狙う耐熱材料と皮膜の現状と将来展望」 5編程度
- ・第58巻 8号 ミニ特集「SIP-MIプロジェクト」 5編程度
- ・第58巻 9号 ミニ特集 第2分科委員担当 5編程度
- ・第58巻 12号 ミニ特集 第3分科委員担当 5編程度
- ・第59巻 第1, 2号 新技術・新製品特集 8編程度

④特記事項

- ・読み物記事の充実等のまてりあを魅力ある会報とするための施策を引き続き推進する。
- ・記事見出しなどのデザイン見直し等の誌面更新や記事構成の更新を推進する。
- ・毎号冒頭にカラーの新企画記事を掲載し、ホームページでの公開を目指す。
- ・掲載後1年を経過した電子ジャーナルのフリーアクセスを継続する。

(2) 日本金属学会誌

①発行

発行年月日	巻 号	発行部数	掲載頁数
2019年 3月1日	第83巻 3号	290部	50頁
2019年 4月1日	第83巻 4号	290部	50頁
2019年 5月1日	第83巻 5号	290部	50頁
2019年 6月1日	第83巻 6号	290部	50頁
2019年 7月1日	第83巻 7号	290部	50頁
2019年 8月1日	第83巻 8号	290部	50頁
2019年 9月1日	第83巻 9号	290部	50頁
2019年10月1日	第83巻 10号	290部	50頁
2019年11月1日	第83巻 11号	290部	50頁
2019年12月1日	第83巻 12号	290部	50頁
2020年 1月1日	第84巻 1号	290部	50頁
2020年 2月1日	第84巻 2号	290部	50頁

- ・電子ジャーナルを毎号発行する。

②特集

- ・第83巻 4, 5号 特集「2018年秋期大会講演精選論文」 5編程度
- ・第83巻 9号 特集「超伝導材料最前線 -実用化に向けた組織制御技術の進歩-」 10編程度
- ・第83巻 10, 11号 特集「2019年春期大会講演精選論文」 5編程度

③特記事項

- ・オーバービュー、レビューの投稿勧誘を継続する。
- ・投稿・掲載料の無料化を継続し、論文の投稿勧誘を継続する。
- ・財政改善のため、電子ジャーナルの購読料有料化を検討する。
- ・平成27年11月に開始した早期公開を継続する。
- ・完全オンライン・ジャーナルを継続する。
- ・合併号の発行、「まてりあ」との合本を検討する。
- ・著作権規程改訂および転載許可業務の委託を検討する。

(3) Materials Transactions

①発行

発行年月日	巻 号	発行部数	掲載頁数
2019年 3月1日	Vol. 50 No. 3	190部	160頁
2019年 4月1日	Vol. 50 No. 4	190部	160頁
2019年 5月1日	Vol. 50 No. 5	190部	160頁
2019年 6月1日	Vol. 50 No. 6	190部	160頁
2019年 7月1日	Vol. 50 No. 7	190部	160頁
2019年 8月1日	Vol. 50 No. 8	190部	160頁
2019年 9月1日	Vol. 50 No. 9	190部	160頁
2019年10月1日	Vol. 50 No. 10	190部	160頁
2019年11月1日	Vol. 50 No. 11	190部	160頁
2019年12月1日	Vol. 50 No. 12	190部	160頁
2020年 1月1日	Vol. 61 No. 1	190部	160頁
2020年 2月1日	Vol. 61 No. 2	190部	160頁

- ・電子ジャーナルを毎号発行する。

②特集

- ・ Vol. 60 No. 3 特集「Titanium Production by Molten Salt Electrochemical Process」
9編程度
- ・ Vol. 60 No. 4 特集「Multiscale Engineering of Green-Energy Materials」
6編程度
- ・ Vol. 60 No. 5 特集「New Trends for Structural and Chemical Analyses by Transmission
Electron Microscopy」
10編程度
- ・ Vol. 60 No. 4, 5 特集「Selected Papers from JIM Fall Meeting 2018」
5編程度
- ・ Vol. 60 No. 6 特集「Frontier Researches Related to Interconnection, Packaging and
Microjoining Materials and Microprocessing for Such Materials
-Part II-」
10編程度
- ・ Vol. 60 No. 7 特集「Recent Advances in Indentation Technique」
10編程度
- ・ Vol. 60 No. 7 特集「Latest Research and Development of Structural and Functional
Titanium-Based Materials」
15編程度
- ・ Vol. 60 No. 7 特集「Severe Plastic Deformation for Nanomaterials with Advanced
Functionality」
10編程度
- ・ Vol. 60 No. 10 特集「Development and Application of Advanced Electron Microscopy
Techniques for Materials Science」
12編程度
- ・ Vol. 60 No. 10, 11 特集「Selected Papers from JIM Spring Meeting 2019」
10編程度
- ・ Vol. 61 No. 1 特集「New Aspects of Martensitic Transformations」
12編程度
- ・ Vol. 61 No. 2 特集「Advanced Metal Forming Technologies in Asia」
15編程度

③特記事項

- ・掲載半年を経過した電子ジャーナルの個人研究目的に限定したフリーアクセスを継続する。
- ・インパクトファクター向上を目指した施策を推進する。
- ・特集企画提案を積極的に勧誘し、実施する。
- ・Review、Overviewの投稿勧誘を継続する。
- ・著者選択フリーダウンロードサービス（投稿・掲載費用に追加することにより、公開後即フリーアクセスとするサービス）を継続する。
- ・完全オンライン・ジャーナルを継続する。
- ・J-stageへのお勧め論文掲載、フリーダウンロード可能となった論文リストのメール発信や各号公開のメール配信、高被引用論文の公開及びメール配信を継続する。

- ・すべての論文のGraphical Abstractを掲載することを継続する。
- ・Materials Transactions共同刊行編集委員会を開催する。(2019年8月、東京)
- ・著作権規程改訂および転載許可業務の委託を検討する。

(4) 学術図書類

- ①既刊図書の増刷
 - ・金属化学入門シリーズ 1冊 1,000部
 - ・講座・現代の金属学 2冊 各1,000部
- ②既刊図書の電子書籍化
- ③理数探求用教材の制作

3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第5条第2号)

(1) 講演大会

- ①講演大会委員会：2回(2019年3月、2019年9月)
 - a. 春秋講演大会の業務執行の協議を行なう。
- ②講演大会企画委員会：2回(2019年7月、2020年1月)
 - a. 講演大会に関する企画および運営の協議を行う。
 - b. 春秋講演大会のプログラム編成を行う。
 - c. 講演大会活性化施策を推進する。
- ③春期(第164回)大会
 - ・2019年3月20日～22日、東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
 - a. 大会参加者数：1,400人(予定)
 - b. 講演発表件数：680件
 - c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演、TMS Young Leader講演
 - d. 男女共同参画ランチョンミーティング
 - e. 金属組織写真賞作品展示
 - f. 付設展示会、ランチョンセミナー
 - g. 講演概要集DVD、1,180部、2019年3月6日発行予定
- ④秋期(第165回)大会
 - ・2019年9月11日～13日、岡山大学津島キャンパス(岡山市)
 - a. 大会参加者数：1,500人(予定)
 - b. 講演発表件数：900件(予定)
 - c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演
 - d. 第17回World Materials Day Award展示
 - e. 付設展示会、ランチョンセミナー
 - f. 講演概要集、ダウンロード、2019年9月4日発行予定
- ⑤特記事項
 - a. 講演大会活性化のための施策を推進する。
 - b. 秋期大会より大括りセッションでの講演募集を行う。
 - c. プログラム編成システム及びポスター審査システムを改修する。
 - d. 秋期大会より講演概要集をダウンロード化する。

(2) セミナーおよびシンポジウム

- ①セミナー・シンポジウム委員会：4回(2019年3月、7月、9月、2020年1月)
 - ・講習会、セミナーおよびシンポジウムを企画・推進する。

②セミナー (1件)

1) セミナー(特別講座) (1件)

- ・テーマ：未定
- ・開催時期：未定、開催場所：未定
- ・開催概要：未定 有料参加予定：未定

③シンポジウム (2件)

1) ハイエントロピー合金の材料科学

- ・開催時期：2019年11月～2020年1月、開催場所：東京
- ・開催概要：講演5件程度 有料参加予定：80名程度

2) 陽に陰にオリンピック・パラリンピックを支える材料工学

- ・開催時期：2019年10月頃、開催場所：東京
- ・開催概要：講演8件程度 有料参加予定：70名程度

(3) 国内学協会共催講演会

- ・国内他学協会からの依頼により講演会を共催する。

(4) 国際会議および国際シンポジウム

- ・主催はない。

(5) 支部講演会および講習会 (他学協会等との共催を含む)

①北海道支部

- ・合同サマーセッション・特別講演会(日本鉄鋼協会と合同開催)
1回：2019年7月、室蘭工業大学(室蘭市)、発表件数50件、参加予定80名
- ・冬季講演大会・特別講演会(日本鉄鋼協会と合同開催)
1回：2020年1月、北海道大学(札幌市)、発表件数50件、参加予定100名
- ・本多光太郎記念講演会(本多記念会と共催)
1回：2020年1月、北海道大学(札幌市)、講演1件、参加予定100名
- ・支部学術講演会
3回：2019年5月、北海道大学(札幌市)、講演1件、参加予定40名
2019年8月、室蘭工業大学(室蘭市)、講演1件、参加予定40名
2019年12月、北海道大学(札幌市)、講演1件、参加予定40名

②東北支部

- ・支部講演会
2回：2019年11月、場所未定、講演2件、参加予定60名
2019年12月、場所未定、講演2件、参加予定40名
- ・本多光太郎記念講演会(本多記念会と共催)
1回：2019年7月、東北大学(仙台市)、講演1件、参加予定100名
- ・地区特別講演会
15回程度：開催時期・場所・講演数・参加予定者数未定
- ・講習会(子供科学キャンパス)
3回：2019年7月、夏休み子ども科学キャンパス、東北大学(仙台市)、参加予定200名
2019年7月、学都仙台・宮城サイエンスデイ、東北大学(仙台市)、参加予定10,000名
2019年10月、秋休み子ども科学キャンパス、東北大学(仙台市)、参加予定200名

③関東支部

- ・本多光太郎記念講演会(本多記念会と共催)
1回：2019年11月、場所未定(東京)、講演1件、参加予定20名
- ・講習会
2回：2019年9月、場所未定(東京)、テーマ未定、参加予定50名
2019年11月、場所未定(東京)、中級を目指すSEM講習、参加予定10名

④東海支部

- ・支部講演大会
1回：2019年11月、学生による材料フォーラム、開催場所未定（名古屋市）、講演数100件、参加予定130名
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
1回：2019年10月、場所未定（名古屋市）、講演1件、参加150名予定
- ・特別講演会
2回：2019年7月、名古屋大学（名古屋市）、講演1件、各回参加予定40名
2019年11月（学生による材料フォーラムと共同開催）、場所未定（名古屋市）、講演1件、各回参加予定130名
- ・湯川記念講演会（日本鉄鋼協会と共催）
2回：2019年10月、場所未定（名古屋市）、講演1件、各回参加予定150名
2020年1月、場所未定（名古屋市）、講演1件、各回参加予定80名
- ・技術交流フォーラム
1回：2019年11月、場所未定、講演数1～2件、参加80名予定
- ・談話会
1回：2019年9月、金属材料談話会、場所未定、参加予定40名
1回：開催時期未定、材料プロセッシング談話会、場所未定、参加予定40名
- ・支部学術討論会
1回：2020年1月、場所未定、講演数6～8件、参加予定50名

⑤北陸信越支部

- ・支部連合講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
1回：2019年12月7日、新潟大学（新潟市）、講演150件、参加200名予定
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
1回：2019年12月7日、新潟大学（新潟市）、参加200名予定
- ・地区特別講演会（日本鉄鋼協会と共催）
4回：2019年6月、富山地区、講演2件、参加予定70名
2019年11月、富山地区、講演1件、参加予定50名
開催時期未定、石川地区、講演1件、参加予定50名
開催時期未定、石川地区、講演1件、参加予定50名・セミナー
- ・学術講演会（日本鉄鋼協会と共催）
1回：開催時期未定、新潟大学（新潟市）、講演1件、参加予定50名
- ・材料技術講演会（日本鉄鋼協会と共催）
2回：開催時期未定、長野地区、講演1件、参加予定50名
開催時期未定、長野地区、講演1件、参加予定50名

⑥関西支部

- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
1回：2019年7月、（一財）大阪科学技術センター（大阪市）、講演1件、参加予定30～40名
- ・湯川記念講演会（日本鉄鋼協会と共催）
2回：2019年4月、（一財）大阪科学技術センター（大阪市）、講演1件、参加予定30～40名
2019年10月、（株）神戸製鋼所、講演1件、参加予定30～40名
- ・関西支部講演会
1回：2020年2月、開催場所未定、講演1件、参加予定30～40名
- ・材料セミナー
3回：2019年10～12月、（一財）大阪科学技術センター（大阪市）、「技術者のための鉄鋼材料入門」、参加予定55名
2019年10～12月、大阪府立大学（堺市）、「透過型電子顕微鏡（TEM）による微細組織解析の基礎と応用」、参加予定12名
2019年10～12月 大阪大学（吹田市）「材料系のための第一原理マテリアルデザイ

ン入門」、参加予定20名

⑦中国四国支部

- ・支部講演大会（日本鉄鋼協会と共催）
1回：2019年8月、愛媛大学(松山市)、発表件数70件、参加予定120名
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
2回：2019年3月、場所未定(岡山市)、講演1件、参加予定40名
2019年8月、愛媛大学(松山市)、講演1件、参加予定50名

⑧九州支部

- ・春季講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
1回：2019年3月、九州大学筑紫キャンパス(春日市)、発表件数4件、参加予定50名
- ・秋季講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
1回：2019年10月頃、日本製鉄大分製鐵所(大分市)、発表件数4件程度、参加予定40名
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
1回：2019年10月頃、日本製鉄大分製鐵所(大分市)、講演1件、参加予定40名
- ・材料科学談話会
1回：2019年3月～2020年2月、場所未定、講演件数未定、参加数未定
- ・材料プロセス談話会
1回：開催時期未定、場所未定、講演件数未定、参加数未定
- ・学術講演会
1回：2019年6月、くまもと県民交流館パレア(熊本市)、発表件数100件、参加予定200名

4. 学術に関する調査及び研究(定款第5条第3号)

(1) 研究会(継続9テーマ、新規1テーマ)

①継続テーマ

研究会番号	研究会名
70	プラストンに基づく変形現象研究会
72	水素化物に関わる次世代学術・応用展開研究会
75	キンク研究会
76	高温変形の組織ダイナミクス研究会
77	高度超塑性形成研究会
78	触媒材料の金属学研究会
79	金属・無機・有機材料の結晶方位解析と応用技術研究会
80	高エネルギー環境用材料評価研究会
81	材料機能特性のアーキテクチャー研究会

②新規テーマ

研究会番号	研究会名
82	微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング

(2) 若手研究グループ(継続4グループ、新規2グループ)

①継続グループ

- 1) Additive Manufacturing (付加製造) による超高耐食性金属材料の開発研究グループ
- 2) 量子ビーム散乱測定による金属組織形成過程のマルチスケール解析研究グループ
- 3) 鉄鋼メタラジー研究グループ
- 4) 多様な先端観察・測定法を用いた組織の定量と力学特性解析への適用

②新規グループ

- 1) 次世代高性能磁性材料研究グループ
- 2) 生体用金属・セラミックス材料の生体外評価に関する標準化検討グループ

(3) 研究助成（金属学会フロンティア研究助成）

- ・本年度新設し、募集を行って採択案件を決定する。
- ・助成金は来年度に交付する。

(4) 調査研究委員会

- ①調査研究委員会：2回（2019年3月、2019年9月）
 - ・調査・研究に関する業務執行の協議を行う。
- ②調査研究推進委員会：2回（2019年7月、2020年1月）
 - ・調査・研究に関する事業の活性化を推進する。
- ③第1～9分科の活動
 - ・改編した分科での活動を開始する。
- ④第5回企業説明会：2019年3月22日、東京電機大学東京千住キャンパス（足立区）
参加企業44社、参加学生200名予定

(5) 他の委員会活動

- ①企画委員会
 - ・学会の魅力向上及び会員増加に向けた運営課題の検討と施策を企画・推進する。
- ②セルフガバナンス委員会
 - ・コンプライアンス遵守を推進する。
- ③長期展望委員会
 - ・事務局に係る検討を行なう。
- ④戦略推進委員会
 - ・関連学協会との連携を推進する。
 - ・大型プロジェクト設立に向けた議論を進める。
- ⑤科研費委員会
 - ・科学研究費補助金に関する情報収集を継続する。
- ⑥人材育成委員会
 - ・学校教育の支援や青少年向けイベントの開催を推進する。
 - ・若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。
- ⑦男女共同参画委員会
 - ・男女共同参画委員会（日本鉄鋼協会と合同）：2019年3月、2019年9月
 - ・男女共同参画ランチョンミーティング：2019年3月
 - ・女性会員の集い：2019年9月
- ⑧国際学術交流委員会
 - ・TMS、KIM、IOMMS等の海外学協会・団体との交流事業を推進する。
 - ・講演大会における国際セッションの開催を検討する。

(6) 支部研究会等活動

- ①東北支部
 - ・支部研究発表大会
1回：2019年11月、仙台高専(名取市)、参加予定100名
- ②関東支部
 - ・ヤングメタラジスト研究交流会
1回：2019年10月、JFEスチール(株)、参加予定50名
- ③東海支部
 - ・若手材料研究会
1回：2019年11月、開催場所未定、参加予定80名
 - ・若手冶金エンジニア研究会(技術交流フォーラムと共同開催)
1回：2019年11月、開催場所未定、参加予定80名

- ・次世代層ものづくり教育
1回：2020年3月、開催場所未定、テーマ未定、参加予定20名
- ④北陸信越支部
 - ・材料研究会
1回：2019年4月、7月、10月、2020年2月予定、富山地区、各回参加予定50名
 - ・材料フォーラム
2回：開催時期未定、福井地区、各回参加予定50名
 - ・ものづくり教育・啓発事業
1回：2019年9月、長岡技術科学大学（長岡市）、たたら製鉄実演、参加予定50名
- ⑤関西支部
 - ・材料物性工学談話会
3回：2019年5月～2020年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
 - ・鉄鋼プロセス研究会
3回：2019年5月～2020年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
 - ・マテリアルデザイン研究会
3回：2019年5月～2020年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
 - ・関西分析研究会
3回：2019年5月～2020年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
 - ・材料化学研究会
3回：2019年5月～2020年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ⑥中国四国支部
 - ・金属物性研究会
3回：2019年6月、2019年12月、2020年1月、開催場所未定、各回参加予定30名
 - ・材質制御研究会
3回：2019年7月 2019年9月、2020年11月、開催場所未定、各回参加予定30名
 - ・若手フォーラム
4回：2019年時期未定 開催場所未定 参加予定40名
2019年12月 開催場所未定 参加予定40名
2020年2月 びゅありていまきび（岡山市） 参加予定90名
2020年2月、開催場所未定、参加予定40名
- ⑦九州支部
 - ・久留米工業高等専門学校中学生向け公開講座の後援 2019年8月

(7) 支部見学会活動

- ①関東支部
 - ・支部見学・講演会
1回：2019年6月、場所未定、参加予定40名
- ②関西支部
 - ・支部見学会
2回：2019年10月、(株)神戸製鋼所、テーマ未定、参加予定30～40名
2020年2月、場所未定、テーマ未定、参加予定30～40名
- ③中国四国支部
 - ・見学会
1回：2019年8月、開催場所未定(愛媛県)、テーマ未定、参加予定30名

(8) 国内学協会連携活動

- ①日本学術会議
 - ・理学・工学系学協会連絡協議会に参加し、情報交換を行う。
 - ・材料連合協議会に参加し、材料系学協会との情報交換を行なう。

- ②日本工学会
 - ・事務研究委員会に参加し、情報を収集する：8回。
- ③材料戦略委員会
 - ・関連学協会と共同で材料分野の理解活動を推進する。
- ④技術者教育制度認定活動
 - ・JABEE(日本技術者教育認定機構)活動に協力する。
- ⑤全国大学材料関係教室協議会
 - ・オブザーバー参加する：2回。
- ⑥男女共同参画活動
 - ・男女共同参画学協会連絡会活動へ参加する。
 - ・(一社)日本鉄鋼協会との合同男女共同参画委員会活動を推進する。

(9) 国際学協会連携活動

- ①IOMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)
 - ・第17回World Materials Day(2019年11月6日)に合わせて、World Materials Day Award Winnerを授賞する。
- ②大韓金属・材料学会(KIM:The Korean Institute of Metals and Materials)
 - ・代表を年次総会へ相互に派遣、招待する。
 - ・第20回KIM-JIMシンポジウムを本会主催で2019年9月の本会秋期講演大会において開催する。
- ③TMS(The Minerals, Metals and Materials Society)
 - ・TMS2019春季講演大会へ本会代表を派遣する。
 - ・JIM/TMS Young Leader International Scholar Program交流を推進する。
2019年3月にTMSから本会2019年春季講演大会に1名を受け入れる。
2019年3月に本会からTMS2019年次大会に1名を派遣する。
- ④CSM(Chinese Society of Metals)
 - ・2019年8月18-22に中国で開催されるPRICM-10を共催する。

5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第5条第4号)

(1) 名誉員および各種賞授賞者ならびにフェロー等の選考委員会

選考委員会	開催数	備考
名誉員検討委員会	1	
各種賞検討委員会	4	
学会賞選考委員会	1	第64回授賞選考
学術貢献賞選考委員会	1	第17回授賞選考
技術賞選考委員会	1	第60回授賞選考
技術開発賞選考委員会	1	第42回授賞選考
金属組織写真賞選考委員会	1	第69回授賞選考
研究技術功労賞選考委員会	1	第50回授賞選考
功績賞選考委員会	1	第77回授賞選考
功労賞選考委員会	1	第17回授賞選考
奨励賞選考委員会	1	第29回授賞選考
谷川・ハリス賞選考委員会	1	第58回授賞選考
増本量賞選考委員会	1	第25回授賞選考
まてりあ賞選考委員会	1	第9回授賞選考
村上記念賞選考委員会	1	第16回授賞選考
村上奨励賞選考委員会	1	第16回授賞選考
論文賞選考委員会	1	第67回授賞選考

若手講演論文賞選考委員会	2	第30, 31回授賞選考
優秀ポスター賞選考委員会	2	第32, 33回授賞選考
奨学賞選考委員会	1	第27回授賞選考
フェロー選考委員会	1	第3回フェロー選考
他機関の各種学術賞、奨励金等推薦		

(2) 名誉員推戴式

- ①名誉員推戴式 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)

(3) 各賞贈呈

- ①第64回学会賞 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
- ②第17回学術貢献賞 2019年9月11日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)
- ③第60回技術賞 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
- ④第42回技術開発賞 2019年9月11日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)
- ⑤第69回金属組織写真賞 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
第1部門(光学顕微鏡部門)、第2部門(走査電子顕微鏡部門(分析, EBSD等を含む))、第3部門(透過電子顕微鏡部門(STEM, 分析等を含む))、第4部門(顕微鏡関連部門(FIM, APFIM, AFM, X線CT等))
- ⑥第50回研究技術功労賞 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
- ⑦第77回功績賞 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
物性部門、組織部門、力学特性部門、材料化学部門、材料プロセッシング部門、工業材料部門、工業技術部門
- ⑧第17回功労賞 2019年9月11日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)
学術部門、技術部門
- ⑨第29回奨励賞 2019年9月11日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)
物性部門、組織部門、力学特性部門、材料化学部門、材料プロセッシング部門、工業材料部門、工業技術部門
- ⑩第58回谷川・ハリス賞 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
- ⑪第25回増本量賞 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
- ⑫第9回まてりあ賞 2019年9月11日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)
まてりあ論文賞、まてりあ啓発・教育賞
- ⑬第16回村上記念賞 2019年9月11日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)
- ⑭第16回村上奨励賞 2019年9月11日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)
- ⑮第67回論文賞 2019年9月11日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)
物性部門、組織部門、力学特性部門、材料化学部門、材料プロセッシング部門、工業材料部門
- ⑯第30回若手講演論文賞 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
- ⑰第31回若手講演論文賞 2019年9月11日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)
- ⑱第32回優秀ポスター賞 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑲第33回優秀ポスター賞 2019年9月20日 岡山大学津島キャンパス(岡山市)(仙台市)
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑳第27回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞 平成29年3月各大学卒業時実施。
(各学科等において贈賞)
- ㉑第17回World Materials Day Award 2019年11月6日 各所属機関において贈賞
IOMMM最優秀賞、日本金属学会部門賞(3部門)

(4) フェロー認定式

- ①フェロー認定式 2019年3月20日 東京電機大学東京千住キャンパス(足立区)

(5) 支部表彰事業

①北海道支部

- ・サマーセッション奨励賞 2019年7月 室蘭工業大学(室蘭市) 受賞者3名
- ・冬季講演大会奨励賞 2020年1月 北海道大学(札幌市) 受賞者3名

②東北支部

- ・学生ポスター賞(支部研究発表大会) 2019年11月 仙台高専(名取市) 参加予定100名

③関東支部

- ・ヤングメタラジストポスター賞 2019年10月 JFEスチール(株) 受賞者3名

④東海支部

- ・支部表彰(学生による材料フォーラム) 2019年11月 場所未定 受賞者10名

⑤北陸信越支部

- ・支部功績賞 2019年12月7日 新潟大学(新潟市) 受賞者1名
- ・優秀学生表彰 2019年12月7日 新潟大学(新潟市) 受賞者5名

⑥中国四国支部

- ・支部長賞 2019年12月 場所未定(岡山市) 受賞者1名
- ・学生優秀講演賞 2019年12月 場所未定(岡山市) 受賞者5名

⑦九州支部

- ・支部長表彰(ポスター優秀発表者) 2019年6月 くまもと県民交流館パレア(熊本市) 受賞者15名程度
- ・支部長表彰(優秀学生) 2019年3月 表彰者の在学期間で授賞 受賞者数未定

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第5号)

庶務の項に記載

II. 庶務の計画

1. 特記事項

- ①セルフガバナンスに基づき、規程類の見直しを継続する。
- ②広報活動を推進する。

2. 平成29年度事業に関わる諸会議および諸集会

(1) 本会単独事業

法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数
社員総会(定時1回)	1
理事会	7
監事監査	2
会報編集委員会	6
会誌編集委員会	6
欧文誌編集委員会	6
学術図書類刊行委員会	1
講演大会委員会	2
講演大会企画委員会	2
本多記念講演委員会	1
セミナー・シンポジウム委員会	2
企画委員会	6
長期展望委員会	1

セルフガバナンス委員会	1
調査研究委員会	2
調査研究推進委員会	2
戦略推進委員会	1
科研費委員会	1
人材育成委員会	2
男女共同参画委員会	2
国際学術交流委員会	2
名誉員検討委員会	1
各種賞検討委員会	5
学会賞選考委員会	1
功績賞等各賞の選考委員会	20
フェロー選考委員会	1
支部会議	28

諸 集 会	開催回数
名誉員推戴式	1
各賞贈呈式	21
フェロー認定式	1
講演大会	2
シンポジウム	2
セミナー	1
研究会	12
研究グループ	6
企業説明会	1
支部講演会・講習会等	64
支部研究会等	35
支部見学会	4

(2) 他学協会等連携事業

諸 会 議	開催回数
Materials Transactions共同編集委員会	1
材料戦略委員会	0
材料戦略委員会企画委員会	0
男女共同参画合同委員会	2
奨学賞贈呈式	38
World Materials Day Award Winner授賞式	1
KIM/JIMシンポジウム	1

公益社団法人 日本金属学会
2019年度収支予算書

2019年3月1日から2020年2月29日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	25,137,956	25,134,159	3,797	
特定資産受取利息	25,137,956	25,134,159	3,797	
退職給付引当資産	698,050	698,089	-39	
減価償却引当資産	1,113	817	296	
刊行事業資金	6,391,250	6,391,250	0	
刊行事業拡充賛助寄付資金	25,660	25,620	40	
講演会・講習会事業資金	5,991,625	5,991,625	0	
講演会・講習会事業拡充資金	4,166	4,166	0	
調査・研究事業資金	5,290,464	5,290,464	0	
調査・研究事業拡充資金	3,000	0		2019より積立
国際学術交流資金	1,734,000	1,734,000	0	
国際会議準備資金	500	0		
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	235,503	235,503	0	
研究技術功労賞資金	119,000	119,000	0	
奨励賞・奨学賞等資金	842,625	842,625	0	
谷川・ハリス賞資金	255,000	255,000	0	
増本量賞資金	595,000	595,000	0	
村上賞資金	1,901,000	1,901,000	0	
受取入会金	110,000	90,000	20,000	
受取入会金	110,000	90,000	20,000	
受取会費	66,900,000	67,450,000	-550,000	
正員受取会費	35,200,000	35,750,000	-550,000	正員減
学生会員受取会費	3,040,000	3,040,000	0	
維持員受取会費	27,800,000	27,800,000	0	
外国会員受取会費	860,000	860,000	0	
事業収益	94,640,493	96,703,953	-2,063,460	
刊行事業収益	52,096,293	56,767,153	-4,670,860	
会報購読費収益	2,134,490	2,325,750	-191,260	
会誌購読費収益	3,565,200	4,980,320	-1,415,120	オンラインジャーナル化
欧文誌購読費収益	10,072,480	10,961,960	-889,480	オンラインジャーナル化
会報別刷等収益	2,431,800	3,754,800	-1,323,000	別刷減
会誌別刷・審査収益	840,000	2,556,000	-1,716,000	オンラインジャーナル化
欧文誌別刷・審査収益	23,124,000	22,500,000	624,000	別刷有料化
刊行事業広告収益	5,544,000	5,304,000	240,000	
講座・現代の金属学収益	2,111,496	2,111,496	0	
金属化学入門シリーズ収益	2,036,867	2,036,867	0	
単行本収益	235,960	235,960	0	
講演会・講習会事業収益	36,605,000	34,032,800	2,572,200	
講演大会参加費収益	17,849,500	16,791,500	1,058,000	参加費値上げ
講演概要集収益	8,914,700	8,811,500	103,200	
講演大会懇親会参加費収益	740,800	861,000	-120,200	
金属学会シンポジウム参加費収益	900,000	0	900,000	シンポジウム増
金属学会シンポジウム予稿集収益	10,000	10,000	0	
セミナー参加費収益	1,530,000	1,660,000	-130,000	
セミナーテキスト収益	30,000	30,000	0	
講演会・講習会事業広告収益	3,870,000	3,178,800	691,200	機器展示増
支部講演会・講習会事業収益	2,200,000	2,200,000	0	
講演会・講習会事業委託収益	560,000	490,000	70,000	
調査・研究事業収益	3,520,000	2,880,000	640,000	
調査・研究事業収益	3,520,000	2,880,000	640,000	企業説明会参加企業増
表彰・奨励事業収益	2,419,200	3,024,000	-604,800	
審査・投稿料収益	2,419,200	3,024,000	-604,800	新技術・新商品減
受取補助金等	600,000	0	600,000	
受取地方公共団体助成金	500,000	0	500,000	秋期講演大会助成
受取国庫助成金	100,000	0	100,000	雇用開発助成
受取負担金	0	1,500,000	-1,500,000	
受取負担金	0	1,500,000	-1,500,000	2017実績
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	379,375	399,375	-20,000	
受取利息	800	800	0	
雑収益	378,575	398,575	-20,000	
支部受取利息・雑収益	300	300	0	
経常収益計	187,767,824	191,277,487	-3,509,663	

科 目	当年度	前年度予算額	増 減	備 考
(2) 経常費用				
事業費	174,714,980	176,012,446	-1,297,466	
刊行事業費	86,145,076	91,471,313	-5,326,237	
給料手当	25,510,000	25,038,534	471,466	職員増
退職給付費用	1,460,000	2,231,679	-771,679	対象職員減
福利厚生費	6,700,000	3,848,812	2,851,188	職員増
会報刊行費	26,678,076	27,082,763	-404,687	
会誌刊行費	3,905,524	8,377,580	-4,472,056	オンラインジャーナル化
欧文誌刊行費	15,352,576	16,703,045	-1,350,469	オンラインジャーナル化
学術図書類刊行費	6,538,900	8,188,900	-1,650,000	増刷印刷部数減
講演会・講習会事業費	54,032,810	53,022,307	1,010,503	
給料手当	15,306,000	15,023,120	282,880	
退職給付費用	876,000	1,339,007	-463,007	対象職員減
福利厚生費	4,020,000	2,309,287	1,710,713	職員増
講演大会開催費	23,924,600	24,680,933	-756,333	会場費減
講演大会懇親会費	1,540,000	1,820,000	-280,000	
本多記念講演開催費	230,700	264,660	-33,960	
金属学会シンポジウム開催費	1,394,770	50,000	1,344,770	シンポジウム増
セミナー開催費	1,702,740	2,115,300	-412,560	
国際会議開催費	0	0	0	
支部講演会・講習会開催費	5,038,000	5,420,000	-382,000	
調査・研究事業費	23,057,094	20,772,603	2,284,491	
給料手当	2,551,000	2,503,853	47,147	
退職給付費用	146,000	223,168	-77,168	
福利厚生費	670,000	384,881	285,119	
関連団体連携事業費	51,500	1,500	50,000	
日本工学会費	285,984	269,590	16,394	
材料戦略委員会費	202,500	862,500	-660,000	委員会減
科研費委員会費	1,000	197,000	-196,000	
人材育成委員会費	150,120	1,715,240	-1,565,120	委員会減
男女共同参画委員会費	190,000	190,000	0	
調査研究委員会費	8,069,570	5,518,826	2,550,744	分科増による分科活動費増
研究会費	4,000,000	3,800,000	200,000	若手研究グループ含む
研究助成費	395,000	0	395,000	2019開始
企画委員会費	1,327,250	1,327,250	0	
セルフガバナンス委員会費	83,500	83,500	0	
国際学術交流委員会費	2,511,670	1,592,295	919,375	国際セッション開催、PRICM-10派遣
支部調査・研究事業費	2,422,000	2,103,000	319,000	
表彰・奨励事業費	11,480,000	10,746,223	733,777	
給料手当	2,551,000	2,503,853	47,147	
退職給付費用	146,000	223,168	-77,168	
福利厚生費	670,000	384,881	285,119	
名誉員費	232,000	201,000	31,000	
各種賞検討委員会費	1,950,200	1,876,231	73,969	
学会賞費	940,110	904,110	36,000	
学術貢献賞費	14,500	26,500	-12,000	
学術功労賞	14,500	0	14,500	
技術賞費	80,090	20,050	60,040	
技術開発賞費	1,258,400	1,626,780	-368,380	
金属組織写真賞費	234,200	199,850	34,350	
研究技術功労賞費	527,500	323,550	203,950	
功績賞費	181,800	21,800	160,000	
功労賞費	13,050	20,050	-7,000	
奨励賞・奨学賞等費	272,950	257,950	15,000	
谷川・ハリス賞費	54,700	19,700	35,000	
増本量賞費	412,700	419,700	-7,000	
まてりあ賞	4,700	4,700	0	
村上賞費	1,389,750	1,380,750	9,000	
論文賞費	203,100	17,100	186,000	
フェロー費	43,750	26,500	17,250	
支部表彰・奨励事業費	285,000	288,000	-3,000	
管理費	18,049,400	19,073,746	-1,024,346	
給料手当	5,102,000	5,007,707	94,293	
退職給付費用	292,000	446,336	-154,336	
福利厚生費	1,340,000	769,762	570,238	職員増
会議費	830,000	825,000	5,000	
旅費交通費	2,750,000	2,750,000	0	

通信運搬費	880,000	1,526,715	-646,715	2017実績
減価償却費	300,000	251,868	48,132	
消耗什器備品費	45,000	45,000	0	
消耗品費	430,000	423,750	6,250	
修繕費	10,000	10,000	0	
印刷製本費	240,000	490,377	-250,377	
光熱水料費	44,000	41,189	2,811	
賃借料	518,400	518,400	0	
保険料	13,000	4,345	8,655	
諸謝金	20,000	126,000	-106,000	
租税公課	2,780,000	3,291,000	-511,000	PRICM-9なし
送金手数料	113,000	108,976	4,024	
支払負担金	80,000	78,685	1,315	
システム管理費	242,000	338,933	-96,933	
委託費	1,550,000	1,546,531	3,469	
雑費	470,000	473,172	-3,172	
経常費用計	192,764,380	195,086,192	-2,321,812	
評価損益等調整前経常増減額	-4,996,556	-3,808,705	-1,187,851	
評価損益等	0	0	0	
当期経常増減額	-4,996,556	-3,808,705	-1,187,851	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-4,996,556	-3,831,705	-1,164,851	
一般正味財産期首残高	1,021,720,267	1,002,799,999	18,920,268	
一般正味財産期末残高	1,016,723,711	998,968,294	17,755,417	
II. 指定正味財産増減の部				
特定資産受取利息	1,901,000	1,901,000	0	
未経過償還差額金の償却額	30,380	30,380	0	
刊行事業拡充賛助寄付金	100,000	100,000	0	
一般正味財産への振替額	1,901,000	1,901,000	0	
当期指定正味財産増減額	130,380	130,380	0	
指定正味財産期首残高	446,593,546	446,332,786	260,760	
指定正味財産期末残高	446,723,926	446,463,166	260,760	
III. 正味財産期末残高	1,463,447,637	1,445,431,460	18,016,177	

(注) 1. 小科目の対前年度予算額比30%超かつ50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。

2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。